

平成28年度地球温暖化防止実行計画に係る 取組結果について

総括

安曇野市地球温暖化防止実行計画は、市の事務・事業における温室効果ガス削減の取り組みとして、平成21年3月に策定されました。本計画が平成27年度に終了したことから、さらなる対策推進のため、基準年度を平成27年度とした第2次計画を策定し、その取組結果をとりまとめました。

CO₂排出量は基準年度と比較して、約3.12%(602,018kg)増加という結果になりました。

なお、この結果について、影響のあった外的な要因は以下のとおりと考えられます。

・増加要因

- ① 基準年度以降の豊科公民館、しゃくなげの湯の供用開始。
- ② 本庁舎、保育園及び児童館における稼働の増加。

・減少要因

- ① 施設の廃止及び改装に伴う使用の停止。
- ② 軽油使用の公用車における使用量の減少。

上記の要因を含め全体を比較した結果、温室効果ガス総排出量は、削減目標としている前年度比1.0%以上の低減の達成となりませんでした。基準年度である平成27年度と比較すると、平成28年4月から豊科公民館、また、平成28年10月にしゃくなげの湯が供用開始となったことが、電気・LPG・重油において、大きく増加となった要因となっております。また、本庁舎においては、凍結防止帯の使用、また、税の申告相談会場としたことにより電気量、灯油使用量が増加しております。

電気・灯油の使用量は、全体に占める割合も非常に大きいことから、削減の余地があると考えられます。

○H28年度二酸化炭素排出量および基準年度・前年度との比較

エネルギー種別	平成28年度			(基準)平成27年度	
	使用量 ①	係数 ②	CO ₂ 排出量 (kg) (①×②) ③ (全体に占める割合)	CO ₂ 排出量 (kg) ④	H27 年度比 (③÷④) ⑤
電気	28,554,323 Kwh	0.481	13,734,629 (69.07%)	13,365,768	2.76%
灯油	1,454,784 ℓ	2.490	3,622,412 (18.22%)	3,647,272	△ 0.68%
LPG	141,010 m ³	6.000	846,062 (4.25%)	820,785	3.08%
重油	353,950 ℓ	2.710	959,205 (4.82%)	723,164	32.64%
ガソリン	188,993 ℓ	2.320	438,463 (2.20%)	430,788	1.78%
軽油	108,712 ℓ	2.620	284,826 (1.43%)	295,803	△ 3.71%
合計			19,885,598 (100.00%)	19,283,580	3.12%